「絵本からきこえる音」を通した学びの可能性
どろんこハリーその１

Possibility of learning through “sounds heard from picture books”
Harry the Dirty Dog　Part1

飯泉祐美子（帝京科学大学）
Yumiko　IIZUMI（Teikyo University of Science）

（要旨）

本研究はCOVID19による緊急事態宣言下での、非対面表現系授業の挑戦的な取り組みである。「どろんこハリー」の絵本を通して、音について考察した。本論では黒いぶちのある白い犬のハリーが、「どろんこハリー」になってしまう場面の音について考えた。

絵本よりきこえる音を考える学びを通して、音について考える一授業の手法となった。

（キーワード）

絵本、音、イメージ、表現

1.はじめに

(1)研究の経緯

本研究は、2020年前期コロナ禍による非対面授業内で実施した都内TK大学の取り組みによるものである。

この授業は新型コロナウィルス感染症（COVID19）による緊急事態宣言により、それまでの当たり前のように実施してきた演習系授業が、急遽授業スタイルを変更し、従来の教室で教員と学生が場を共有しながら学びを進めるスタイルの授業ではなくオンラインシステムを活用し、場を共有せず遠隔で授業を行うスタイルの非対面授業に変更となり、しかも、今後、それがいつまで続くのか見通しが立たない、見切り発車状態でスタートしたものである。

とはいうものの、当初は、最初の3回～4回以外、すなわち緊急事態宣言が解除された以降は対面授業に戻る期待をもっていた。

しかし、5月下旬に緊急事態宣言が解除となっても大学の原則的な方針により前期期間中は非対面での実施となった。

授業者としては、学び方のスタイルが異なる状況下においても、学びの「質」を担保、保証していかなければならないという思いで継続する非対面授業に取り組んだ。

これまでの表現の演習は、いろいろな演習の体験を通して体得するものであるとの固定観念で授業を構築、運営していたため、授業者にとっては初の試み、初の挑戦であった。

本論は、そのような見切り発車でスタートした非対面授業において、対面授業時ではできなかった、非対面授業だからこそ時間をかけてじっくりとできる深い学びを目指した授業内容、言い換えれば非対面授業であったからこそ、学生に追及させることができた授業内容、その新たな可能性を考察するものである。

コロナ禍の今だからこそできた実践的研究である。

2.対象の教科目

(1)教育課程上の位置づけ

本論の対象授業科目は4年制大学保育者養成課程2年次前期開講科目の「幼児と表現Ⅱ」である。

授業科目の位置づけは、幼稚園教諭一種免許状取得のための科目、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「領域に関する専門的事項」である「幼児と表現Ⅱ」（2 年前期選択科目 2 単位）である。

また、この授業科目は、保育士資格取得のための「告示別表第 1 による教科目」系列「保育の内容・方法に関する科目」教科目「保育内容の理解と方法」「幼児と表現Ⅱ」（2 年前期資格取得必修科目 2 単位）である。

つまり、保育者養成課程で学び、卒業時に「幼稚園教諭一種免許状取得」「保育士資格」のダブル取得を望む学生にとっては、欠くことができない科目であるため 99%の学生が履修している科目である。

(2)表現系科目での位置づけ

TK 大学では 2019 年 4 月よりスタートした再課程認定後のカリキュラムにより、4 年間継続的に表現に関わる科目設置をしており、4 年間専任の音楽表現系の教員が主軸となり表現科目の学びに寄与している。

4 年間の表現系科目の学びは表 1 のとおりである。

表 1　表現系科目の 4 年間の学び

教科目	必/選	時期	単位数	コマ
基礎ゼミ	卒必	1 年前	2	3/15
幼児と表現Ⅰ	幼必	1 年後	2	１５
幼児と表現Ⅱ	幼選/保必	2 年前	2	１５
保育内容（表現）	幼・保必	2 年後	2	１５
幼児の音楽的表現実践演習Ⅰ	※１	2 年後	1	１５
幼児の音楽的表現実践演習Ⅱ	※２	3 年前	1	１５
幼児の音楽的表現実践演習Ⅲ	選択	3 年後	1	１５
幼児の音楽的表現実践演習Ⅳ	選択	4 年前	1	１５
保育教職実践演習	幼・保必	4 年後	2	4/30

※１　併用してあそびうたリトミック 2 級講師資格取得のできる科目である。また、併用して発達障がい児専門リトミック認定講師資格取得科目でもある。

※2　併用してあそびうたリトミック１級修了認定科目である。

(3)シラバス

本科目は、再課程認定以前は教職課程の「教科に関する科目」として、また、保育士養成課程の「保育の表現技術」として、「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」「体育Ⅰ」「体育Ⅱ」「図画工作Ⅰ」「図画工作Ⅱ」という教科ベースの教科目であったが、再課程認定後「表現」という教科目となり、「音楽的表現」「身体的表現」「造形な表現」の統合科目として再編された。そのためそれぞれの専門分野の教員 3 人によるオムニバス科目である。

15 回の授業は以下の表 2 のように編成されており大きく 5 つの内容を 3 コマかけてそれぞれの教員の主たる分野から学びを展開するシラバスとなっている。

このシラバスは前年度末に公開確定しているものであり、コロナ禍であっても大きな変更には至らず、変更になった点は、非対面であったことである。

表 2　シラバス概要

第 1 回～第 3 回	「表現」あそびについて
第 4 回～第 6 回	「環境」の表現
第 7 回～第 9 回	「イメージ」の表現―
第 11 回～第 12 回	表現演習
第 13 回～第 15 回	創作表現発表

3.対象の授業

(1)対象の学生について

本研究対象学生は、都内 TK 大学 2 年生 U1 クラス 56 名。この科目全体の履修者は 110 名であるので全体の約 52%にあたる。

この対象学生には本研究の詳細を書面にて説明し、書面にて承諾を得た。課題の提出率は

41 名で対象学生の 73%である。

(2)対象の授業

本論の対象の授業は第 4 回、第 7 回、第 10 回と 3 回にわたり『どろんこハリー』（ジーン・ジオン文、マーガレット・ブロイ・グレアム絵、わたなべしげお訳）福音館出版の絵本を使用し、オンデマンド授業の後、課題として取り組んだ。

例年、表現の授業の最終段階では、近隣の子どもたちを学内に招き、学内で「表現発表会」を実施してきたが、本年度はその取り組みができないために『どろんこハリー』を通して学生共通の表現題材とし、その学びの最大限の確保のために位置付けた。

なお、使用する絵本は全員同じ出版元のものを使用した。

(3)授業の詳細

1）音マップ作り（第 4 回）

この絵本には「表紙」「中表紙１」「中表紙 2」「挿絵１～１９」「裏表紙」の計 23 枚の挿絵で構成されている。それぞれの挿絵からきこえる音（オノマトペ等）を書き出し、音の風景（音マップ）づくりを行った。

2）イメージによる挿絵の音（第 7 回）

次の段階として「お話から分かる音」「挿絵からわかる音」「想像を巡らせてきこえる音」などを挿絵ごとに詳細に記入した。また、そのような音を、保育の現場での読み聞かせの際の演出とするか？演出する場合はどのように音を再現するか？そのために「楽音」「環境音」について意識的に音を「きく」という学習も行った。

3)きこえる音の可視化

「音台本」と「おとのもと」の作成

最終段階として、きこえる音の可視化を試みた。可視化にあたり「音台本」「おとのもと」を作成した。

「音台本」とはお話の展開の中でどのタイミングで「音楽」や「音」「効果音」がきこえるかというものである。挿絵ごとに作成した。

本来、「台本」とは演ずる際の土台となるものでそれをもとに展開されていくわけであるが、本研究では、現在のコロナ禍では演ずることができないために、各自、思考し、想像を巡らせながら取り組んだ。「おとのもと」とは台本に挙げた「音」をどのように発生し、あるいは演じるかを考えさせ、個々に記述させたものである。

絵本の読み聞かせは、必要以上の「音楽」や「効果音」の必要ないことは周知しているが、本取り組みでは、例年の舞台表現がかなわなかった代替えとして行ったものであるため、敢えて「音楽」や「音」について考えさせた。このことはあらかじめ理を述べておく。

4.どろんこハリー

(1)概要

『どろんこハリー』は 23 枚の挿絵で構成されていることは先に述べたが、物語の展開は大きく三つの場面で展開される。

一つ目は「おふろに入りたくない一心で逃げ出し繰り広げられる場面」(13 枚の挿絵。本論の対象)。二つ目は「ハリーだと気づかない家族に対するハリー自身の精一杯の努力の場面」(8 枚の挿絵)。三つめは「無事に家族にハリーであるとわかってもらえて、自分の家の居心地の良さを再認識する場面」(2 枚の挿絵)。

本論では一つ目の場面「おふろに入りたくない一心で逃げ出し繰り広げられる場面」の 13 枚の挿絵から「きこえる音」に焦点を当てる。

5.きこえる音

各学生が作成した「音台本」より、13 枚の挿絵それぞれからきこえた音は次の通りである。

以下の表は学生の作成した「音台本」より一覧表にまとめたものである。尚、「きこえる音」や「きこえる音楽」の全ての項目が同一となることは大変少ないために回答はそのまま反映した。

(1)表紙

「表 3」「表 4」は表紙からきこえる音である。音というより、圧倒的にメロディを伴う音楽が多い。これはテレビや演劇等、初めのテーマ曲があることがほとんどであるためその固定観念があるのかもしれない。

表 3　表紙からきこえる音楽（メロディ）

きこえる音楽	スタイル	作詞	作曲
おはなしおはなし		谷口和子	渡辺茂
おはなしおはなし パチパチパチ	替え歌		
おふろじゃぶじゃぶ	替え歌	さとうよしみ	服部公一
おふろじゃぶじゃぶ	替え歌	さとうよしみ	服部公一
おふろのうた	替え歌		ピンキッツ
きらきらがいっぱい	歌なしメインはピアノ、ウィンドチャイム	新沢としひこ	新沢としひこ
子犬のマーチ		久野静夫	
さんぽ		中川李枝子	久石譲
シャボン玉	替え歌	野口雨情	中山晋平
シャンシャンシャンプー	替え歌	津田真一	小杉保夫
せんたくじゃぶじゃぶ		尾崎亜美	尾崎亜美
にじ	歌なしアコーディオン最初の20秒	新沢としひこ	中川ひろたか
ディズニーランドハニーハントの音楽初めの部分			
はじまるよはじまるよ			
はじまるよ			
はじまるよ	手拍子		
フーッちゃっぽんぽん	替え歌	三浦徳子	中谷靖
冒険のはじまり			天休ひさし
短いおはなし	ピアノ曲		リヒナー
短いおはなし	ピアノ		
みずのうた		新沢としひこ	細田真衣子
らららコッペパン			神前暁
ルージュの伝言	歌なし	荒井由実	荒井由実
ルンルン気分		フリーBGM	
The bath song	替え歌	Lyrics	
The bath song	替え歌	Lyrics	
Upside Dwon（おさるのジョージ）			

表 4 表紙からきこえる音

きこえる音	何の音	再現方法
カサカサ	ブラシをこする音	
じー		
スラッー	立っている音	紙をゆっくり破る音
テンテンテン		木琴でゆっくり目のテンポでたたく
ドキドキ	子供の心情を表すスネア	
ドロドロ		
フリフリ		
わんわん		
わんわん		
向き合って不思議がっている音		

きこえる音楽の大半は、オープニングに使用されやすいもの、または物語の内容に関連する歌詞や曲名となっているものが大半である。表紙は直立する「黒いぶちのある白い犬ハリー」と「どろんこハリー」が向き合ったものであるが、そこから導き出されるような音楽であったか疑問である。

(2)中表紙 1

「表 5」「表 6」は中表紙 1 からきこえる音である。中表紙 1 は表紙と比べるとメロディを伴う音楽は激減したが、表紙より継続しているものもありメロディを伴う音楽がきこえるようである。

表 5　中表紙 1 からきこえる音楽（メロディ）

きこえる音楽	スタイル	作詞	作曲
おふろにはいろう	替え歌		
子犬のマーチ		久野静夫	
みずのうた		新沢としひこ	細田真衣子
らららコッペパン	メロディのみ	神前暁	
ルージュの伝言（※表紙の続き）			

表 6 中表紙 1 からきこえる音

きこえる音	何の音	再現方法
カサカサ		
ガシッ	焦ってブラシをくわえる音	ギロ、ブラシ
がぶっ	ブラシをくわえた音	自分の口を使って表現
ゴシゴシ	洗っている音	ギロ、マラカス
ジャー		
シャカシャカ	洗っている音	ギロ、マラカス
シャカシャカ	ブラシでこすって洗う音	マラカス
ジャージャー	お風呂に湯を溜めている様子	タンブリンを上下に振る
ジャブジャブ	おふろでジャバジャバしている音	バケツに入れた水を激しく音を立てる
ジャボジャボ	おふろの湯のたまっていく音	水を張った桶にペットボトルに入れた水を灌ぐ
タッタッタ	急いでいる様子	タンブリン軽く刻む
ちゃぷちゃぷちゃぷ	おふろの湯の沸いている音	バケツに水を入れてでかきまわす
チャポチャポ	おふろをのぞいている	水をたたく音
トコトコトコ	そっと近づいている音	ペットボトルを指でたたく
パク！	くわえた音	ペットボトルをへこます
パク	ブラシをくわえた音	マラカス2回振る
パタパタ	走ったりする音	カスタネット
びちゃびちゃ		
ピチャピチャ	水の音	アンクルン
ヒョイ		口笛で吹く
ブクブク	おふろの湯が沸いている音	水の入ったコップにストローで息を吹きかける
ぷくぷく		
ポチャポチャ	水面の音	実際の紙面をぱちゃぱちゃする
ほかほか〜	温かそうな音	ボンゴ
ぽかぽか	おふろの温かさをあらわす	シャボン玉が割れる音
ぽゎー	湯気の音	ゆっくりと長く低い音
ほわほわ		
ほわーん		
モクモク		
モクモク		
モクモク		
もくもく		
もわーん		
わしゃわしゃ	お風呂にブラシを持っていく音	ビニールをこする
?	おふろに入りたくなくてドキドキしている音	

同じ様子を表すにもかかわらず多様なオノマトペが出てきている。

中表紙 1 はふろの準備がされ、浴槽にお湯がたまる様子をハリーは眺めている。おふろが大嫌いなハリーであるのだから、ここからハリーの心情も感じてほしいが、きこえる音はふろの状態をあらわす擬声語がほとんどである。

(3)中表紙 2

「表 7」「表 8」は中表紙 2 からきこえる音である。中表紙 2 はこの後のハリーの繰り広げるストーリーを予期させるようなものである。

表 7　中表紙 2 からきこえる音楽（メロディ）

きこえる音楽	スタイル	作詞	作曲
子犬のマーチ			
みずのうた		新沢としひこ	細田真衣子
らららコッペパン	メロディのみ	神前暁	

表 8　中表紙 2 からきこえる音

きこえる音	何の音	再現方法
ガブッ	スポンジをくわえる音	ギロを勢い良く鳴らす。
ササッ	走っている音	マラカスを左右交互に振る
ジャー	お風呂の水	レインスティック
ジャー	水が溜まっていく音	大き目の鍋屋バケツから水を勢いよく出す
ジャージャー	おふろ場を表現	ビニールテープ
ジャージャー		自作
ジャージャー		オーシャンドラムを左右にゆっくり傾けて波のような音を出す。
ジャブジャブ		バケツに入れた水を激しく触る音
シュシュ		
スタスタ	速く歩いている音	アンクルン
スタスタッ		
スタスタスタ	走っている音	草と足音
スタスタスタ	階段の音	カスタネット
タタタタッ	ハリーが走っている	机や床を走っているようなリズムでたたく。
たったった	スポンジを持って走って逃げている音	
タッタッタ		
タッタッタ	走っている様子	コンガ
タッタッタ	走ってる音	カスタネット
ちゃぷちゃぷ	おふろの音	水を手ですくって表現
どたどた	階段を下りたり歩いている音	
トコトコ	走っている様子	机をたたく
トコトコ	ハリーの走る足音	子供が足をバタバタして音を出す。
とことことこ		
トタトタ	逃げ足の速さ	ふっとボトルを爪で強めに叩く
トントン		
ニヤッ		
パタパタ	パタパタと走る元気な足音	リズムよく高い音
パタパタ	ハリーがあるく足音	スリッパで強弱をつけながら床をたたく
はっはっは	ブラシをくわえて走る音	マラカス
ひょい	ブラシを取った音	ストローをくわえて音を出す
びよーん		ゴムを伸ばして音を立てる
ぴょんぴょん		ピアノで高めの音をならす
ポチャン	おふろに勢いよく水がたまる音	水が張った桶にペットボトルより水を注いでいく
ぼゎー	湯気の音	ゆっくりと長く低い音
もくもく	湯気の音	木魚
ワンワン	ハリーの鳴き声	自分の声
うきうきしながら逃げる音		

(4)挿絵 1

「表 9」「表 10」はハリーがブラシを加えて逃げ出す挿絵 1 からきこえる音である。

表 9　挿絵 1 からきこえる音楽（メロディ）

きこえる音楽	スタイル	作詞	作曲
どんぐりころころ	替え歌	青木存義	梁田貞作
走るの大好き		うたう	
おふろに入ろう		キロロあやの	

表 10　挿絵 1 からきこえる音

きこえる音	何の音	再現方法
カサカサ	ブラシできれいに洗う音	ブラシで速くこする
がたがた		足で床を踏む
ザー	お湯を入れる音	レインスティック
ザクザク	掘る音	おもちゃ箱をあさる音
サッサッサッ	おふろから急いで走り逃げる音	カスタネットで急いで叩く
ジャー	勢いよく水がたまる音	大き目のバケツから水を流す
ジャー	お風呂の水	レインスティック
ジャー	シャワーの音	水を流す音
ジャー		
ジャージャー	おふろの水の音	レインスティック
じゃぶじゃぶ		
タタタタッ	ハリーが走っている様子	机や床をたたく
タカタカタカ	ハリーが階段をおりる音	木琴高い音から下がっていく
タタタタ	勢いよく階段を下りている音	プラスチックカップで机をたたく
たったった		机をたたく
タッタッタ	階段を急いで降りていく音	ペットボトルを棒でたたく
タッタッタ		
タッタッタ		カスタネット
タッタッタッタッ		
タッツタッツタ	走る音	床をたたく
ダッダッダッダッ	おふろに入りたくなくて階段を駆け下りている	人間が階段を駆け下りる音
タンタンタン		
タンタンタンタン	階段を下りる音	木琴高い音
ダンダンダン	階段の音	足で強く地面を踏む
チャプチャプ		
チャプチャプ	おふろの水の音	ペットボトルに水を入れてシャカシャカ振って音を出す
チュンチュン		笛をやさしく吹く
ちょろちょろちょろ	お湯が溜まっていく音	レインスティック
ったったった	かいだんをいきおいよく降りている	カスタネットで勢いよくたたく
どしどし	ハリーが階段をおりる音	自分で足をどしどしする
どたどた	階段を下りたり歩いている音	
どたどた	階段をかけおりる音	自分の足踏み
ドバドバ		
ドボドボドボドボ		木魚
トコトコ	階段を下りてくる音	カスタネット
トコトコ	走っている様子	机をたたく
トコトコ	ハリーの足音	子供に足をパタパタしてもらう
トコトコ	階段からにげて行く	
とことことこ	階段を素早く降りていく音	
トントン	ハリーが階段をおりる音	木琴
トントントン		自作
トントントン	ハリーが階段をおりる音	かかとでトントントンと地面をたたく
トントントン	急ぎながら飼い主に見つからないように階段を下りる音	牛乳パック
トントントン	テーブルなどを勢い良く指先でたたく	
ハアハア	ハリーの吐息	自分の声
ハァハァハァ	疲れているハリーの吐息	風船を膨らます音
パクッ		
パクッ	ハリーが階段をおりる音	木琴高い音から下がっていく
バタバタバタ		スネア
バタバタ	逃げ出すハリーの気持ち	シンバル
バタバタ	お風呂なんかはいりたくないと階段を急いで降りる音	大太鼓をドンドンドン
パタパタ	元気に走る足音	リズムよく
バン	ドアの音	箱同士をたたく
ポンポンポン		
ポンポンポン		

きこえる音は、おふろの湯を張っている状況を示すオノマトペもあるが、階段を一段飛ばしで降り、逃げ出すハリーの様子が伝わるオノマトペが多い。

(5)挿絵 2

「表 11」「表 12」は挿絵２からきこえる音である。挿絵 2 はハリーが木の根元におふろ用ブラシを埋めているものである。

表 11 挿絵 2 からきこえる音

きこえる音	何の音	再現方法
ガサガサ	ブラシを埋めている音	カバサ
ガサガサ		カスタネット
がさがさ		かみをこすりあわせる
がさごそがさごそ	草むらをかき分ける音。穴を掘る音。	カバサを短い間隔で
ガサガサガサガサッ	隠している音	カバサを速く振る
ガシガシ	穴を掘る音	紙を力ずよくつかむ
ガシャガシャ	土を掘っている音	からのビニール袋を丸めてつよくてでもみながらこする
がりがりがり		
がりがりがり	穴を掘る音	ビニール袋をひっかく
がりがりがりがり		
ぐしゃぐしゃ	泥の音	紙を丸めたりぐしゃぐしゃする音
ゴソゴソ	穴を掘る音	手足で床をすりすりまたはマラカス
サッサ	穴を掘っている音	カバサ
ザザザ	土を掘る音	マラカス
サクサクサク		
ざくざく	穴を掘る音	キャベツをフォークで刺す
さっさ		
ざくざく		
さっさっさっ	後ろ足で土をけっている音	ほうきでコンクリートをはく音
さっさっ	ブラシを埋めている音	カバサ
さっさっさっ		
ざっざっざ	穴を掘る音	ペットボトルに砂を入れて振る
ざっざっ	地面を歩く音	ペットボトルに濡れた砂を入れて振る
ざっざっざっ	穴を掘る音	袋をならす
ざっざっざっ	ブラシを埋めている音	カバサ
ざっざっざ	穴を掘っている音	
ざっざっ	ブラシを埋める音	カバサ
さわさわ	風で気が揺れる音	紙を丸めたりぐしゃぐしゃする音
さわさわ	草の音	外の音
ざわざわ	草が揺れている音	びにーるをくしゃくしゃする
しゃっしゃっ	穴を掘る音	速いリズムでマラカスを振る
しゃっしゃっしゃ		
しゅっしゅっしゅっ	掘る音	
シャカシャカ		
しゃっしゃっ	ブラシを埋めている音	カバサ
しゃっしゃ		
シュシュシュ	掘る音	トライアングル
トコトコ		カスタネット
ピヨピヨ	鳥の鳴き声	バードコール
ぴよぴよ		
ほりほりほり		
ほりほり		
ポリポリ	穴を掘る音	ペットボトルのギザギザを爪でひっかく
?	やったぜという音	ツリーチャイム

表 12 挿絵 2 からきこえる音楽（メロディ）

きこえる音楽	スタイル	作曲
ららら コッペパン		神前暁

きこえる音は「穴を掘り埋める」行為を表す擬声語がほとんどであるが、その音の再現方法としてカバサの使用が挙げられている。授業内でこれまでカバサの使用はなかったにもかかわらず、学生が音色を知っていることを知ることができたことは、今回の授業における発見であった。

(6)挿絵 3

「表 13」「表 14」は挿絵 3 からきこえる音である。

表 13 挿絵 3 からきこえる音

きこえる音	何の音	再現方法
ガシャンガシャン		タンバリンで無造作にたたく
カシャカシャ	階段を下りる音	紙カップでたたく、カスタネット
ガタガタ		ペットボトルで地面をたたく
ガバ	ブラシをかじってる音	水にタオルを膨らませてつぶした音
がやがや	騒がしい音	マラカスやギロ
がやがや		長胴太鼓
ざわざわ	お店のお客さんの声	公園で遊んでいる人の声
ざわざわ	人の声	ネットの音
ざわざわ		ペットボトルにお米を入れる
スー	静かな時間に吹く風	サウンドホース
すたすた		
スタタタ	飛び出している感じ	段ボールを素早くたたく
たったった		
タッタッタッ	ハリーがすたすた歩く音	タンブリンを軽く
タッタッタ	外へ抜け出している音	コンガ
ちゅんちゅんちゅん	鳥の鳴き声	実際の鳴き声
てくてく	抜け出して歩いている音	はじくような音
てくてく	外へ抜け出している音	コンガ
てくてく	抜け出す音	スネア
てくてく	ゆっくりと街中を歩いている様子	
てくてく	ハリーの歩く音	タンブリンを爪でこする
てくてく		
てくてくてく		
トコトコ	走っている様子	机をたたく
とことこ	走る音	子供が足をバタバタさせる
どたどた	階段を下りたり歩いている音	
トントントン	階段を下りる音	かかとで地面をたたく
にゃー	猫たちが楽しそうにおはなし	
にゃーにゃー	猫	
にゃーにゃー		
にゃーお		
ぱたぱた	ハリーの歩く足音	スリッパでたたく
ピーピー		笛を強く吹く
ヒューン		
ぴゅーん	街の雰囲気	
ぴゅーん		
ピヨピヨ	小鳥	
ぷっぷー	車の音	リコーダー
ぺちぺち	ハリーの足音	手を軽くたたく
ぺちゃくちゃ		
ルンルンルン	外へ抜け出す	ボンゴ
ポーン	抜け出す音	
ルンルンルン	逃げ出してルンルン	鈴でシャラランン
わくわく	走っている	カバサ
走る音		
町の騒音		

表 14 挿絵 3 からきこえる音楽（メロディ）

きこえる音楽	スタイル	作詞	作曲
さんぽ		中川李枝子	久石譲
はりきっちゃうときのテーマ			こおろぎ
ららら コッペパン			神前暁

挿絵 3 は、「それからそとへぬけだしました」この一文だけの挿絵である。

挿絵がたった一つの文をわかりやすく演出しており、街へ出たハリーの様子をしっかりと

伝えている。そのため町の様子が分かるようなオノマトペが多々挙げられている。

(7)挿絵 4

「表 15」「表 16」は挿絵 4 からきこえる音である。

表 15　挿絵 4 からきこえる音

きこえる音	何の音	再現方法
がー	工事の音	ビブラスラップ
ががが	工事の音	ネットの音
がーがー	大きな車や機械の音	ドライヤー、掃除機の音
がーがー	乗り物や工事の音	
ガがガガガー	道路工事の音	大太鼓
ガがガガガーごごごごご	道路工事の音	机をたたく
がさがさ		
がっシャンがっしゃん かんかん	工事の音 工事の音	ギロ ギロ
がしゃがしゃ		
がしゃがしゃ	騒がしい音	ギロ
かしゃかしゃ がしゃがしゃ	道路工事の音	ビニール袋をゆらしたりつかんだりする
がシャン	工事の音	鈴
がシャンがシャン		
がシャンがシャン	道路工事の音	タンブリンを平手で
がががががずドドド	工事の音	ギロや太鼓
がたがたがた	道路工事の音	カスタネット
がたがたがた	道路工事の音	手のひらや爪で机をたたく
がたがた	工事の音	
がたがた がたがたがた	道路工事の音	ティンパニ
がたんがたん	鉄道の音	実際の車の音
ガタンゴトン		牛乳パックで地面をたたく
がらがら かんかんかん	工事の音 道路工事の音	ギロ ティンパニ
カンカン	工事の音	カウベル
かんかんとんとん	工事の音	缶を箸でたたく
かんかんとんとん	道路工事の音	クラベス
ぐうぃーん	道路工事の音	シンバル
ゴゴゴ	工事の音	太鼓
ゴゴゴ	ダンプカーやトラックの騒音	ボンゴ
ごおおおお ごーおーごーおー	道路工事の音 工事の音	ティンパニ エアコンの音
コツコツ		カスタネットを使用
ごとんごとん	道路工事の音	ティンパニ
ザックザック		紙を爪でひっかく
ジャージャー	工事の音	大太鼓
シュー	滑って遊んでいる	風船
ずドドドどどどどっ		長胴太鼓
ちゅんちゅん		木のねじ自作
とことこ		
どっどっどっどっ	道路工事の音	太鼓を張りおさえてたたく
どどどっ	工事の音	
ドドド		足踏み
バシャバシャ	ハリーが遊ぶ音	袋をがさがさする
バシャバシャ	泥遊びの音	水を激しくたたく
ばちゃばちゃ		
ぱちゃぱちゃ		水をたたく音
ばちゃばちゃ	泥遊び	
ばちゃばちゃ	ドロドロになって売れすがっている音	水の表面をたたく
ぴーぴー ぴしゃん	車の音 道路工事の音	ティンパニ
びちゃびちゃ	泥水	水をたたく
ぴちゃぴちゃ	ハリーが泥で遊んでいる様子	コップや桶に水を入れ手ではじく
ぴちゃぴちゃ	泥だまりで遊んでいる音	レインスティック
びちゃびちゃ	騒がしい音	水
びちゃん ブーブー	泥水たまりに入った音	ラッパ
ぶっぶー ぶろろろ	乗り物や工事の音	
ぶんぶん	乗り物や工事の音	
べちょべちょ	土や泥の音	ねんど
べちゃべちゃ		
?	道路工事の音	
?		ギロ

表 16　挿絵 4 からきこえる音楽（メロディ）

きこえる音楽	スタイル	作曲
らららコッペパン		神前暁

耳が痛くなるような騒音の道路工事の場面である。再現方法としても大太鼓やギロをはじめとする大きな音を発するものが列挙されている。イメージしやすかったと予想される。

(8)挿絵 5

「表 17」「表 18」は挿絵 5 からきこえる音である。

表　15　挿絵 5 からきこえる音

きこえる音	何の音	再現方法
がしゃんがしゃん	道路工事の音	ビニール袋を揺らしたりつかんだりする。
がたがた	町の騒音	カスタネット
がたがた	不安定な線路の上	でこぼこした缶を箸こする
がたんごとん		
がたんごとん	鉄道線路の上で遊んでいる音	ボンゴ
ガタンゴトンガタンゴトン		
ガタンゴトンガタンゴトン	鉄道の音	実際の車の音
ガタンゴトンガタンゴトン	電車の音	たいこでスピードをつけてたたく
ガタンガタン		
がたんごとん	電車の音	マラカス
ガタンガタン	電車	おもちゃの電車を走らせる
がたんごとん	電車	
カンカンカん	電車	
カンカンカン		ベルの周りを掴み音が響かないようにする
かんかんかん		拍子木（桜の木）
カンカンカン	道路工事	クラベス
カンカンカン		
こつこつ	人々の足音	指を机にあてノックするようにたたく
ごろごろごろ	鉄道	
ざざざざ	炭を流す音	箱にお米を入れて傾けて音を出す。
しゃー	鉄道線路の上で遊んでいる音	カバサ
シュー	工事の音	風船から抜ける空気の音
しゅぽー	機関車の音	
しゅっポーポー		鉄琴
シュポポー	電車の音	口でシュシュポポー
じゅー		フライパンで焼く音
シュー		
ちゅんちゅん	鳥	自作
どきどき	機関車の音	ささら
とことことこ		
トントントン	道路工事	タンブリンをてのひらでたたく
トントントン	梯子を上る	
ぱちぱち		人々が拍手をしている音
ばちゃばちゃ		水面をたたく
ぴぴー		笛
ぴょんぴょん		タンブリンを軽くたたく
ぶーん	車の音	
プップー	鉄道の音	トランペット
ぷしゅー！ぼおんぼおん		アコーディオン
ポーポー	電車の音	トイレットペーパーとストローで作った笛
ぽー		
ぽー		リコーダー
ポっポッポー	鉄道の音	笛を使って吹く
ポッポー	すずの音	グレートバスリコーダー
ポッポー		
ポッポー	汽車	タンブリン
ポッポー		笛
ぽー	汽車の音	笛
ポッポー	汽車の音	ネットの音
ポッポー	汽車の音	ペットボトルに行きをふーっと入れる
ポッポー	機関車	リコーダー
ポッポー		
ポッポー		アルトリコーダー
ぼーっ	汽車	笛
もくもく	電車	
?	電車の音	

表 16　挿絵 5 からきこえる音楽（メロディ）

森のくまさん	替え歌	
らららコッペパン		神前暁

挿絵 5 は中心に機関車が描かれている為、その関連の音が多い。挿絵 4 と同様の傾向である。

(9)挿絵 6

「表 19」「表 20」は挿絵 6 からきこえる音である。

表 17　挿絵 6 からきこえる音

きこえる音	何の音	再現方法
がたん！		ペットボトルで地面をたたく
ガタンゴトン	貨物列車	
がちゃがちゃ		
がんがん		
きゃーきゃー	子供たちの遊んでいるようす	マラカス
きゃんきゃん		
きゃんきゃんわんわんへっへっ	犬の鳴き声	自分の声
ぎらぎら	たいようのひざし	金銀の固めのおりがみ
こつこつ	土管に入る犬たち	ハイヒールのかかと
しゅっしゅっしゅ、ぽっぽー		
タタタタッタタタタッ	たくさんの犬	机や床をたたく
たったった	ハリーが走る音	ペットボトルをたたく
たったった	犬たちの鬼ごっこ	タンブリンカスタネットコンガ
たたたた	おにごっこ	マラカス
たたたた	走る犬	カスタネット
ざっざっざっざっざっ	ハリーが走っている音	キャベツを速く切る音
とことこ	ハリーが走っている	子供たちの足のバタバタ
とたとた	鬼ごっこで遊んでいる様子	ペットボトルをたたく
どたどた	階段を下りたり歩いている音	
どたどた	走っている犬たち	足踏み
トントントン	ハリーの音	かかとを使ってトントントン
どんどん		和太鼓
はあはあ	たのしそう	
ぱたぱた	ハリーの足音	スリッパで床をたたく
はっはっは	ハリーたちの声	自分の声
びよーん		ゴムを引っ張ってならす
ブーン	近くに車が走っている音	バイオリンなどの弦楽器で低めの音
ブーブー	犬の声	ラッパ
ぽたぽたぽた	ハリーの泥の落ちる音	ペットボトルを指の腹でたたく
ルンルン	犬の声	笛
ワイワイ	たのしい	鈴を振る
わちゃわちゃ	犬たちがじゃれている様子	スネア
わんわん		
わんわん	犬の声	自分でなく
わんわん	犬たちの鬼ごっこ	タンブリンカスタネットコンガ
ワンわわーん	遊んでいる犬	
わんわん	犬の声	木魚
わんわん	犬の声	犬の声
わんわん	犬の鳴き声	自分の声
わんわん	犬たちが遊んでいる	タンブリン
わんわん		
わんわん		
わんわん		
わんわん		
わんわん		
わんわん	多くの犬の鳴き声	
わんわん	犬たちの楽しそうな声	
?	犬の鳴き声	

表 18　挿絵 6 からきこえる音楽（メロディ）

きこえる音楽	スタイル	作曲
甘い夢	ピアノ曲	チャイコフスキー
らららコッペパン		神前暁
走るの大好き	メロディ	

挿絵 6 は、犬たちのコミュニティを描いたものである。そのため犬の鳴き声はほぼみな「わんわん」と挙げているが、犬たちのたわむれている様子は多様であり、再現方法も身の回りにあるものを使用した多様な発音媒体が挙げられている。

(10)挿絵 7

「表 21」「表 22」は挿絵 7 からきこえる音である。

表 19　挿絵 7 からきこえる音

きこえる音	何の音	再現方法
ガーガー	大きな車や機械の音	ドライヤーの音や掃除機の音
がー	石炭トラックを滑っている音	大太鼓
がしゃがしゃ	道路工事の音	ビニール袋をゆらしたりつかんだり
がしゃがしゃ	石炭を下す音	袋を丸めてシャカシャカと音を出す
がしゃんがしゃん		
がたーん		
ガタン		ペットボトルで地面をたたく
がたんがたん	石炭トラックで遊んでいるハリー	ボンゴ
ガタンゴトン		
がらがらがらがら		
がらがらがら	石炭トラックを滑っている音	大太鼓
キャンキャン、わんわん		
ごろごろ	石炭トラックで遊んでいるハリー	ペットボトルに少量の水
ザーザー	石炭トラックの滑り台	砂を入れた容器を振る
ザーザー	石炭が勢いよく落ちる音	
ザーザー	石炭を落とすときの音	シャワーの音
ざーっ		カバサ
さーっ	石炭	マラカスを回す
さー		紙を切る音
ザザザ	滑る音	ペットボトルに砂を入れてゆっくりふる
ざざざざ	炭を流す音	箱にお米を入れてかたむけておとをだす
ジャー		砂を新聞紙の上で傾ける
ジャージャー	トラックの音	ギロ
じゃらじゃら	工事現場の医師を落とす音	
しゅー	犬たちが滑っている音	風船
しゅー	滑っている音	壁をすっとこする
すー	滑り台を滑る音	ハープ
すぅー	滑る音	ささら
すーすー	滑る音	鉄琴でグリッサンド
すいすい		ビニールを合わせる
スルー	滑る音	スライドホイッスルでゆっくり吹く
どーん		
どしゃーん		
バふっ	まっくろになる	ぼふっという
びちゃびちゃ		湯船に少し湯を溜めてあしでぴちゃぴちゃする
ひゅーん	滑っている音	ソプラノリコーダー
ぴゅーん	滑り台	
ピヨピヨ	鳥の鳴き声	バードコール
びょーん		ゴム
ぶーぶー	車がバックする音	リコーダー
ぶぉー	石炭トラック	風船の空気を抜く
ぺたぺた		濡れた足で家の中を歩く
るんるん	ハリーが遊んでいる様子	鉄琴でスライド
わんわん		
わーわー		
?	犬の鳴き声	
?	心拍数が上がってきている音	箱に小豆を入れて
?	車の音	

表 20　挿絵 7 からきこえる音楽（メロディ）

きこえる音楽	スタイル	作曲
らららコッペパン	替え歌	神前暁

挿絵 7 はハリーが遊びに夢中になっている場面である。

この場面では特に石炭トラック滑り台に夢

中になっているハリーが描かれている。

(11)挿絵 8

「表 23」「表 24」は挿絵 8 からきこえる音である。

表 21　挿絵 8 からきこえる音

きこえる音	何の音	再生方法
がさがさ		
がしゃがしゃ		ビニールを丸める
かたかた	梯子の音	
がたがた	梯子を上る音	椅子をガタガタさせる
がたがたがた	ハリーの気持ち	積み木をやさしくたたく
カンカンカン	工事の音	カウベル
カンカンカン	工事の音	鉄琴
きーきー	梯子のきしむ音	ビブラスラップ
クゥー	寂しそうな鳴き声	サイレンホイッスル
クゥーンクゥーン		
くーん	ハリーの気持ち	
くーん		
こつこつ	人の足音	第2関節でノックするように机をたたく
こつこつ		
じーっ		
じろじろ		
しゅん		
すたすた		タンブリンで優しくたたく
すーん	寂しい気持ち	トーンチャイム
たんたんたんたん	階段を下りる音	木琴の高い音
ったったった		ペットボトルを強くたたく
てくてく	帰る音	
どすどす	へとへとに疲れた気持ち	
とんとん	おじさんが梯子を上る	カスタネット
とことこ	ハリーの足音	子供たちの足音
とんとん		机などをグーでたたく
とことこ		
とことことこ		ペットボトルをやさしくたたく
とんとん	梯子の音	コップで鳴らす
とんとんとん	おじさんの上る音	紙コップを机にたたきつける
はぁ	家に帰る気持ち	タンブリン
ばさ		
ブッブー	車のクラクション	笛
ぺたぺた		手をゆっくり合わせる
ぺたぺた		
わんわん		自分の声
?	切ない気持ち	
?	話し声	
?	寂しい気持ち	
?	ハリーの気持ち	ボンゴでゆっくりボンと叩く

表 22　挿絵 8 からきこえる音楽（メロディ）

きこえる音楽	スタイル	
らららコッペパン		神前暁
カントリーロード	サビの部分	鉄琴

挿絵 8 はそれまでのハリーの心情が変化し、家に帰らなくてはいけないと、少し寂し気なハリーの心情の音やオノマトペが挙げられている。

(12)挿絵 9

「表 25」「表 26」は挿絵 9 からきこえる音である。

表 25　挿絵 9 からきこえる音

きこえる音	何の音	再現方法
かちゃかちゃ	食器の音	
がやがや	レストランの音	お皿やフォークを重ねて音を出す。
がやがや		
ぐー	おなかの音	
ぐー		袋を振らませて手を滑らせる
ぐー	おなかの鳴る音	オルガンで長く鳴らす。
ぐー		
ぐー		
ぐぅぅぅー	おなかが減っている音	
ぐー		笛で低い音を出す
ぐー	おなかの減った音	オルガンで長く鳴らす。
グゥー	おなかがすいた音	おおだいこ
グゥー	おなかの減った音	ウォッシュボードをこする
ぐるるる	おなかの減ってる音	ギロ
さっさっさっ		
ざわざわ		ざるに小石を入れる
しゅん		
すたすたすた	ハリーが帰る音	
すたすたすた		
すたすたすた		
タタタタッ		
だだだだ		
たったったっ	とぼとぼ歩いている	机や床をたたく
たったった	走って帰る	タンブリン
たったったったっ	ハリーが急いでいる音	ボンゴ
ちらっ	チラ見	
てくてく		
てくてく	帰る音	
てくてく	さんぽ	
どきどき	急いで走る	
トコトコ	走っている様子	机をたたく
とことことこ	ゆっくり歩いている様子	
とことことこ	ハリーの足音	子供たちに足をバタバタしてもらう
とことことこ	つかれた	ペットボトルのキャップ
とぼとぼ		
とんとんとん	ハリーの足音	かかとでトントントン
のそのそ	ゆっくり歩く	
はあはあ		
ぱくぱく		ボンゴ
ぱたぱた	ハリーの足音	
ぴっぽーぴっぽー		
ひゅー		笛
ブイ		
ぺたぺた		
よちよち	おなかがすいて歩いている	トライアングルを響かないように
話し声		

表 26　挿絵 9 からきこえる音楽（メロディ）

きこえる音楽	スタイル	作曲
はらぺこあおむし	メロディのみ	新沢としひこ

空腹となり疲れ果ててしまった、ハリーの心情がうかがわれる音やオノマトペが挙げられている。

(13)挿絵 10

「表 27」「表 28」は挿絵 10 からきこえる音である。

おふろに入ることを避けるために家を出てしまったハリーであったが、いざ家に戻るとな

るとどうやって戻るのがいいのか、ハリーなりに悩むシーンである。家出をしたことを後悔しているようなそのような挿絵である。

表 23　挿絵 10 からきこえる音

きこえる音	何の音	再現方法
カサカサ	草が動く様子	紙をくしゃくしゃに丸めて音を出す
カサカサ	草の揺れる音	紙を手でこする
カサカサ	草を分ける音	カバサ
ガサガサ	かきに根に忍び込んだ音	マラカス
ガサガサ		
ガサガサ	垣根にひそんだ音	カバサ
かしゃかしゃ		
がちゃ	家の鍵を開ける音	実際の鍵開けの音
がちゃ	ドアの音	ドアの音
ギィーギィー	ドアの音	実際の音を使用
キィ	ドアを開ける音	トライアングル
キイィー	そよかぜ	ささら
こつこつこつ		
さささっ	さっと立ち去る音	
さっさっ		
さやさや	風の音	かみをこする
さわさわ	草のこすれる音	ハーモニカを使って優しく吹く
ざわざわ		ささら
ざわざわ	草木の音	ビニール
サーサー		
サーサー		
さわさわ		紙をこすり合わせる
さーっ	風の音	レインスティック
じろじろ		
じーっ	ハリーが見つめる音	紙を爪でひっかく
じー	垣根にひそんだ音	カバサ
じーーーーーーーーーー		
じーっ		じーっという
じーっ		ささら
じゃじゃーん		タンブリン
しゃっ	ハリーの家族が張り出ないかと心配している音	紙の上を爪でこする
ずん	ハリーの表情	ティンパニー
すー	物静かな風	サウンドホース
そーっと		
ちら	見つめる音	ちらっと言う
ドキドキ		リードオルガン
ドキドキ	ハリーの心臓の音	ペットボトル2本をたたく徐々に大きく速く
ドキドキ	ハリーの気持ち見つめる音	
とことこ	ハリーの足音	こどものあしばたばた
はあはあ	ハリーの気持ち見つめる音	
ぴゅーーぴゅーー		
ひょこん	のぞき見している音	
もぞもぞ		砂の入った布袋をふる
フリフリ	鳥の鳴き声	
フリフリ		鈴
ゆらゆら	花や雑草	
わしゃわしゃ		ビニールをくちゃくちゃする
風の音		
ドアの音		

表 24　挿絵 10 からきこえる音楽（メロディ）

きこえる音楽	スタイル	作曲
はらぺこあおむし	メロディのみ	

6.考察

本授業内容を振り返り、「絵本からきこえる音」を通した学びの可能性という視点から学生にとってどのような学びがあったかを考察する。

本授業の学びの一つ目は、学生自身が絵本に向き合い、13 枚の挿絵の中から場面を想像し、イメージを繰り広げ、きこえていない音を、頭の中で再生したということである。この過程は、意識的に「音」に向き合い、敏感になり、思考するという学習プロセスであるため、今までの授業では経験したことのない学びであったといえるのではないだろうか。この学びは学生同士の感じ方の差は生じたとしても個々の学生にとっての個人内の経験や学びは大きかったように思う。

また、二つ目の学びは、「文字」というメディアを用いて、そのイメージを他者に伝えたことも、本授業での学びであったように考えられる。これについては多種多様なオノマトペの列挙でうかがい知ることができる。学生は他者へ「文字」で伝えるために、たくさんのオノマトペを知ることができた。

三つ目の学びは、学生自身が非対面授業として提供された情報を一つ一つ繰り返し耳を傾け確認し、深く思考するという行為が、新たな学びであったといえる。これは、対面授業時では、限られた授業時間内での活動として、その時間内でという時限付きであったため、「音」に耳を傾け深く考えるという学びというより、多くの学生は音がきこえてくるがゆえの「きき流し」の授業時間の経過という場面が多かったが、この授業で学生は、楽器について各自が提供された情報からその「音色」を調べ自分のイメージと意識的に紐づけできた。

7.最後に

絵本においては言語の情報はたいへん少な

い。しかし、そこに描かれた絵は言語の情報だけでなくストーリーを展開する。

保育の五領域の学びの上で「表現」は常に発信するものととらわれがちであるが、この活動を通し、外に発信するだけではない、自分の心の内に発信してイメージすることは、保育者養成にあたり大切な一過程であるように思う。

本授業により「表現」の学びの一手法を示唆することができたように思う。

このように考察すると、本論における授業の方法はコロナ禍であったための仕方がなく実施した内容が発端であったが、COVID19 収束後の今後の新しい取り組みとしても有効な学びであると考える。

今後は、対面授業、非対面授業という授業のスタオイルにとらわれず、学びの一スタイルとして進化発展させることに努めたいと考える。

8．文献

ジーン・ジオン文マーガレット・ブロイ・グレアム絵（2002 年）わたなべしげお訳『どろんこハリー』福音館出版

石井玲子編著（2020 年）．表現者を育てるための保育内容「音楽表現」―音遊びから音楽表現へ―教育情報出版